

春テーマ 生徒が本推薦



オカミ書店に推薦本を並べたコーナーを
設置した清真学園中・高生＝鹿嶋市宮中

鹿嶋 清真学園中・高

鹿嶋市宮中のオカミ書店に、清真学園中・高(飯山克則校長)の生徒が推薦する本が並ぶコーナーが設置されている。選択授業で「図書館講座」を学んだ生徒らが春にちなんだ「出会いと別れ」をテーマに計18冊を選び、手作りのPRポップも添えて購入を促している。

同講座は中学2年から高2年までの14人が受講。今回は校外の人たちにも普段は校内図書館での展示本の魅力を発信しようと、や、本の魅力を語って競う同書店に推薦本の展示企画ヒアリオバトルなどを行う。を相談。同書店が「若い人

書店にコーナー 手作りポップ添える

たちの目線で読書の楽しさを伝えられる」と快諾し、昨年11月から具体的な準備を進め、初めての開催につながった。

設置した3月27日は図書委員会のメンバーも加わり、普段は企画コーナーとして使われている本棚に並べた。タイトルは「ストーリー・セラー」(有川浩著)や「52ヘルツのクジラたち」(町田そのこ著)、「アルジャーノンに花束を」(ダニエル・キイス著)など。「君たちはどう生きるか」(吉野源三郎著)のポップには、「『どう生きるか』という普通の問いをこの本を通して考えてみませんか?」と書かれている。

本を並べた北野あゆみさん(17)は「短い文章でポップにまとめるのは苦労した。ぜひ本を手にとってもらい、読書の楽しみを知ってもらおうきっかけになればうれしい」と願った。

同書店の岡見正仁社長は「読書離れが進み、リアルな書店が減少する中、若い方の目線による推薦を通じて、本との偶然の出会いの楽しさを感じ取ってもらいたい」と期待した。企画展示は6月30日まで。

(小池忠臣)

出所：2024.4.14（日）茨城新聞 地域 いばらきワイド 掲載